



今月の表紙

伊勢神宮献穀田お田植え祭(P11)

編集発行／いみず野農業協同組合 総務課

富山県射水市北野 1555-1 TEL 0766(52)0023 FAX 0766(52)5955

J A ホームページ <http://www.ja-imizuno.or.jp/> JAいみず野 検索

第19回

通常総代会開催



いみず野農業協同組合の第19回通常総代会が、令和元年5月25日(土)午後2時より射水市小杉文化ホールラポールで本人出席の総代362名、書面議決による出席100名の合計462名の出席により開会された。

開会に際し、水元組合長が総代各位に、多忙の中の出席に礼を述べ、来賓各位には射水市が発展し続けるよう更なる活躍を願った。

決算は、県下トップクラスの成績を確保できたと報告、今後とも信頼され必要とされるJ Aを目指していくとし、農業情勢は依然として厳しいが、「農業者の所得増大」「地域の活性化」に向けて、総合事業の強みを活かした自己改革の実践に着実に取り組むとした。

昨年も多く自然災害に見

舞われたが、1等米比率が98%と県下トップクラスのいみず野米を生産することができ、「富富富」の作付面積も本年度は倍増、枝豆は、部会としてJ G A Pを取得し「安全な農産物の生産」「農業者の安全確保」を実践していくと説明した。



▲水元睦雄組合長

来賓祝辞

来賓祝辞を夏野元志射水市長、吉野省三射水市議会議長より受け、来賓の奈田安弘産建委員長、串田仲男射水市商工会会長を紹介して議事に入った。

通常総代会付議議案

- | | |
|---|--|
| <p>第1号議案 第19年度 事業報告及び剰余金処分案承認の件</p> <p>報告事項1 第19年度 貸借対照表、損益計算書、注記表及び附属明細書の件</p> <p>第19年度 部門別損益計算書の件</p> | <p>報告事項2 J Aバンク基本方針の変更の件</p> <p>第2号議案 中期3カ年計画設定の件</p> <p>第3号議案 第20年度 事業計画設定の件</p> <p>第4号議案 第20年度における固定資産取得処分に関する件</p> <p>第5号議案 地域農業振興計画設定の件</p> <p>第6号議案 定款一部変更の件</p> <p>第7号議案 定款変更に伴う監事監査規程の一部変更の件</p> <p>第8号議案 会計監査人選任の件</p> <p>第9号議案 第20年度における理事の報酬に関する件</p> <p>第10号議案 第20年度における監事の報酬に関する件</p> <p>第11号議案 役員任期満了につき改選の件</p> <p>第12号議案 理事の退職慰労金贈呈の件</p> <p>第13号議案 監事の退職慰労金贈呈の件</p> <p>特別決議 「総合事業」の展開によるJ A自己改革の実践に関する特別決議</p> |
|---|--|

役 職	氏 名	区 分
代表理事組合長	水元 睦雄	大 江
副 組 合 長	澁谷 忠雄	金 山
副 組 合 長	源 春夫	大 島
代表理事専務	塚本 清	小 杉
常 務 理 事	夏野 邦昭	浅 井
総 務 委 員 長	浦元 康夫	本 江
金融共済委員長	土合 正夫	黒 河
営農販売委員長	臍嶋 茂夫	水戸田
購 買 委 員 長	川東 茂幸	作 道
理 事	河岸 芳美	全 区
理 事	森 俊治	戸 破
理 事	中井 敏男	作 道
理 事	笹木 憲治	片 口
理 事	高橋 賢治	櫛 田
理 事	西野 博信	太閤山・泖
理 事	金森 光重	橋下条
理 事	角谷 宗一	大 門
理 事	田中 美憲	七 美
理 事	堀 俊之	下 村
理 事	清水 裕之	塚 原
理 事	稲垣 潔	二 口
理 事	矢野 耕悦	新 湊
理 事	宮原 謙次	大 島
理 事	前川美智子	全 区
代表・常勤監事	田邊 康弘	全 区
監 事	朽木 寛	小 杉
監 事	田所 義治	浅 井
監 事	片口 和美	海老江
監 事	宮田 憲雄	太閤山・泖
監 事	森田 啓介	櫛 田
監 事	堀 清範	片 口

小川副組合長が議長選任を
諮り、小杉地区の総代、野上
習次氏を選出した。

議長選出・議事・特別決議



▲吉野省三市議会議長



▲夏野元志射水市長



▲議事進行を務める野上習次議長

野上議長の進行により、第19年度の事業報告・剰余金処分案や中期3カ年計画、第20年度の事業計画、地域農業振興計画、役員改選の件等、当局説明の13議案を慎重審議の上承認した。

特別決議として「総合事業」の展開によるJA自己改革の実践に関する特別決議を、夏野邦昭理事事業本部長が力強く決意表明し、満場一致の拍手により採択された。

役員任期満了につき改選の件

役員任期満了につき新たに理事24名、監事7名選任のため役員選任投票が行われ、出席者の325票と書面議決を合わせて425票の賛成があり、左記の通り理事、監事の就任が承認された。

その後の組織役員会で、水元睦雄代表理事組合長、澁谷忠雄副組合長が留任し、新たに大島地区の源春夫氏が非常勤の副組合長に就任、代表理事専務に塚本清氏が、常務理事に夏野邦昭氏が就任した。

また、監事会で、田邊康弘氏（員外監事）が、代表・常勤監事に選任された。

代表理事組合長	代表理事組合長	副組合長理事	副組合長理事	専務理事	理事事業本部長	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	代理	監	監	監	監	監	監		
夏野元	水川元	小谷川	澁谷	塚本	夏野	浦元	源春	稲朝	土正	臍合	川嶋	河東	尚芳	森清	中俊	笹木	高橋	西野	片口	金森	角谷	田中	堀藤	田邊	牧野	朽木	川野	田所	坂本
秀雄	睦雄	明雄	雄秀	忠雄	邦昭	康昭	春夫	朝夫	正夫	茂夫	茂夫	芳夫	清美	俊信	敏治	憲治	賢治	博和	和博	光重	宗一	美重	信治	治一	美重	弘一	雄久	義裕	浩二

第 19 年度 業務のご報告

(1) 当該事業年度の末日における主要な事業活動の内容と成果

昨年末に T P P 11 が、本年 2 月には日 E U ・ E P A が発効され、今後、国内農業に及ぼす影響が懸念されるところです。国内では行政による米の生産数量の配分が廃止されましたが、一部県域では前年産を上回る作付けを実施したところもあり課題を残すこととなりました。

昨年は記録的な猛暑や台風・大雨など、農業にとっては大変厳しい気象条件となりましたが、管内のうち米は、県下トップクラスの品質を誇ることができました。これもひとえに生産者の皆さまの常日頃のご尽力の賜ものと感謝申し上げます。

このような状況にあって、組合員をはじめ皆様方のご協力を賜わりながら役職員一丸となり事業運営に取り組んでまいりました。その結果、主要事業の信用・購買・販売事業で計画を達成し、利用事業では計画未達となりました。

なお、金融機関の財務の健全性を示すといわれています自己資本比率は、11 ページに記載の通り 16.85%（新自己資本比率算定方式）となり、当 J A の財務状況は健全であることを示しています。

(2) 組合員の数及びその増減

(単位：人)

資 格 区 分		前 期 末	当 期 増 加	当 期 減 少	当 期 末
正組合員	個 人	5,334	195	193	5,336
	法 人				
	農 事 組 合 法 人	44	5	—	49
	そ の 他 の 法 人	4	—	1	3
	計	5,382	200	194	5,388
准組合員	個 人	8,100	560	243	8,417
	そ の 他 の 団 体	117	2	3	116
	計	8,217	562	246	8,533
合 計		13,599	762	440	13,921

(3) 出資口数の数及びその増減

(単位：口)

資 格 区 分		前 期 末	当 期 増 加	当 期 減 少	当 期 末
正組合員	個 人	1,226,525	41,930	40,213	1,228,242
	法 人				
	農 事 組 合 法 人	3,757	430	—	4,187
	そ の 他 の 法 人	100	—	30	70
	計	1,230,382	42,360	40,243	1,232,499
准組合員	個 人	433,160	52,429	14,217	471,372
	そ の 他 の 団 体	4,383	51	151	4,283
	計	437,543	52,480	14,368	475,655
処 分 未 済 持 分		3,441	10,241	3,441	10,241
合 計		1,671,366	105,081	58,052	1,718,395
摘要：(1) 出資一口金額 1,000 円 (2) 当期末払込済出資総額 1,718,395,000 円					

(4) 職員の状況

(単位：人)

区 分	前 期 末	当 期 増 加	当 期 減 少	当 期 末
一 般 職 員	149	8	13	144
営 農 指 導 員	12	6	－	18
生 活 指 導 員	3	－	－	3
工 場 関 係 職 員	11	－	1	10
計	175	14	14	175
常 備 人	63	7	9	61
パ ー ト	17	1	1	17
計	80	8	10	78
合 計	255	22	24	253

(5) 財務・事業成績の推移

(単位：千円 ※千円未満切り捨て)

区 分		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
財 務	事 業 利 益	327,658	282,259	284,527	244,777	
	経 常 利 益	387,407	336,311	332,248	306,330	
	当 期 剰 余 金	308,681	232,285	239,242	214,625	
	総 資 産	133,722,432	137,747,824	143,534,896	147,681,724	
	純 資 産	8,352,347	8,595,361	8,868,699	9,085,253	
信 用	貯 金	122,931,472	126,881,322	132,503,477	136,580,923	
	預 金	88,609,687	93,429,488	99,352,653	103,752,452	
	貸 出 金	28,052,346	27,557,161	27,325,456	27,401,396	
	有 価 証 券	3,846,875	3,835,111	3,826,506	3,418,695	
		国 債	2,147,104	2,135,288	2,126,630	1,718,766
		そ の 他	1,699,770	1,699,823	1,699,876	1,699,928
共 済	長期共済保有高	323,085,122	316,939,623	307,685,846	297,743,836	
	短期共済新契約掛金	496,579	501,238	512,257	496,897	
購 買	購 買 品 供 給 高	3,364,386	3,498,954	3,381,649	3,323,363	
販 売	販 売 品 取 扱 高	2,648,413	2,934,130	2,911,769	2,819,199	
保 管	保 管 事 業 収 益	43,412	45,364	44,156	39,913	
利 用	利 用 事 業 収 益	474,644	533,928	532,524	518,442	
そ の 他	その他事業収益	17,423	16,625	18,395	17,295	
指 導	収 支 差 額	△ 37,666	△ 32,401	△ 24,464	△ 31,704	

(6) 貸借対照表

平成31年2月28日現在

資 産 の 部

科 目	金 額
(資産の部)	
1. 信用事業資産	135,462,716
(1) 現金	449,354
(2) 預金	103,752,452
系統預金	103,752,443
系統外預金	8
(3) 有価証券	3,418,695
国債	1,718,766
地方債	1,699,928
(4) 貸出金	27,401,396
(5) その他の信用事業資産	644,531
未収収益	632,814
その他の資産	11,717
(6) 貸倒引当金	△ 203,713
2. 共済事業資産	2,960
(1) その他の共済事業資産	2,960
3. 経済事業資産	1,645,633
(1) 受取手形	2,692
(2) 経済事業未収金	264,835
(3) 経済受託債権	975,028
(4) 棚卸資産	399,322
購買品	398,801
その他の棚卸資産	521
(5) その他の経済事業資産	6,131
(6) 貸倒引当金	△ 2,378
4. 雑資産	145,006
(1) 雑資産	145,051
(2) 貸倒引当金	△ 45
5. 固定資産	4,273,014
(1) 有形固定資産	4,256,394
建物	5,074,900
機械装置	2,262,075
土地	1,417,733
その他の有形固定資産	1,070,918
減価償却累計額	△ 5,569,233
(2) 無形固定資産	16,620
6. 外部出資	6,013,272
(1) 外部出資	6,013,272
系統出資	5,871,718
系統外出資	141,554
7. 繰延税金資産	139,120
資産の部合計	147,681,724

負債及び純資産の部

(単位：千円 ※千円未満切り捨て)

科 目	金 額
(負債の部)	
1. 信用事業負債	137,224,540
(1) 貯金	136,580,923
(2) その他の信用事業負債	643,616
未払費用	182,081
その他の負債	461,534
2. 共済事業負債	451,610
(1) 共済資金	248,912
(2) 未経過共済付加収入	191,242
(3) その他の共済事業負債	11,455
3. 経済事業負債	203,208
(1) 経済事業未払金	123,686
(2) 経済受託債務	79,517
(3) その他の経済事業負債	5
4. 雑負債	180,759
(1) 未払法人税等	59,000
(2) その他の負債	121,759
5. 諸引当金	536,353
(1) 賞与引当金	56,435
(2) 退職給付引当金	427,517
(3) 役員退職慰労引当金	52,400
負債の部合計	138,596,471
(純資産の部)	
1. 組合員資本	9,070,140
(1) 出資金	1,718,395
(2) 資本準備金	40,499
(3) 利益剰余金	7,321,487
利益準備金	1,989,350
その他利益剰余金	5,332,137
リスク管理積立金	1,671,638
情報システム機能強化等積立金	250,607
税効果調整積立金	144,882
農林年金対策積立金	204,550
特別積立金	2,699,796
当期末処分剰余金	360,662
(うち当期剰余金)	(214,625)
(4) 処分未済持分	△ 10,241
2. 評価・換算差額等	15,112
(1) その他有価証券評価差額金	15,112
純資産の部合計	9,085,253
負債及び純資産の部合計	147,681,724

(7) 損益計算書

〔平成30年3月1日から
平成31年2月28日まで〕

(単位:千円 ※千円未満切り捨て)

科 目	金	額
1. 事業総利益		2,405,323
信用事業収益	1,115,433	
信用事業費用	273,635	
信用事業総利益		841,797
共済事業収益	576,539	
共済事業費用	17,993	
共済事業総利益		558,545
購買事業収益	3,501,408	
購買事業費用	2,921,425	
購買事業総利益		579,983
販売事業収益	189,935	
販売事業費用	34,011	
販売事業総利益		155,923
保管事業収益	39,913	
保管事業費用	701	
保管事業総利益		39,211
利用事業収益	518,442	
利用事業費用	273,993	
利用事業総利益		244,448
その他事業収益	17,295	
その他事業費用	176	
その他事業総利益		17,119
指導事業収入	29,188	
指導事業支出	60,893	
指導事業収支差額		△ 31,704
2. 事業管理費		2,160,546
人件費	1,366,852	
業務費	186,290	
諸税負担金	65,728	
施設費	520,775	
その他事業管理費	20,899	
事業利益		244,777
3. 事業外収益		74,401
4. 事業外費用		12,848
経常利益		306,330
5. 特別利益		139,445
6. 特別損失		160,041
税引前当期利益		285,734
法人税・住民税及び事業税	70,335	
法人税等調整額	774	
法人税等合計		71,109
当期剰余金		214,625
当期首繰越剰余金		116,891
情報システム機能強化等積立金取崩額		28,371
税効果調整積立金取崩額		774
当期末処分剰余金		360,662

(8) 剰 余 金 処 分 内 訳 (第 19 年度)

(単位：円)

1. 当 期 未 処 分 剰 余 金		360,662,195
2. 剰 余 金 処 分 額		246,980,402
(1) 利 益 準 備 金	45,000,000	
(2) 任 意 積 立 金	170,910,000	
(リ ス ク 管 理 積 立 金)	(90,000,000)	
(情報システム機能強化等積立金)	(40,000,000)	
(農 林 年 金 対 策 積 立 金)	(40,910,000)	
(3) 出 資 配 当 金	16,811,433	
(4) 事 業 分 量 配 当	14,258,969	
3. 次 期 繰 越 剰 余 金		113,681,793

(注) 1. 出資配当は年 1.0%の割合である。
ただし、年度内の増資及び新規加入については日割計算をする。
2. 事業の利用分量に対する配当の基準は次のとおりである。
当年産米（主食用）出荷数量に対し、1 俵（60kg）あたり 130 円（消費税は含まない）の割合とする。
3. 次期繰越剰余金には営農指導、教育・生活・文化改善の事業の費用に充てるための繰越額 20,000,000 円が含まれている。

J A い み す 野 は 第 18 年 度 (平 成 29 年 度) 決 算 よ り 事 業 利 用 分 量 配 当 制 度 を 導 入 し ま し た 。

事業利用分量配当とは、組合員の事業利用によって生み出された剰余金を、その利用分量に応じて組合員に還元（配当）する制度です。



事業利用分量配当制度の概要

対 象 と な る 方	出資組合員 ※正・准組合員を問わず、年度末（平成 31 年 2 月 28 日）時点で組合員の方が対象となります。 (出資名義人本人)
対象となるお取引	米穀の取引
配 当 の 基 準	当年産米(平成 30 年産主食用)出荷数量に対し、1 俵 (60kg) あたり 130 円(消費税含まない)の割合

第20年度 事業計画の基本方針

農業をめぐる情勢は、新たなTPP協定が国会で承認され、本年度中にも発行が見込まれています。また、日欧EPAなども含め、将来的な国際化の進展のなかで国内農業への影響が懸念されます。

J Aをめぐる情勢は、正組合員の高齢化に伴う世代交代や大規模経営体への生産・販売の集中化による農業就農人口の減少などにより、J Aの組織基盤である組合員構成が大きく変化しています。また、各事業における他業態との競争激化や信用・共済事業の急速な収益力低下などにより今後も厳しい経営環境が継続すると見込まれます。

こうした環境のなか、「農業者の所得増大」「地域の活性化」へのさらなる挑戦を目指し、低コスト農業への転換や食の安心・安全に向けた取組みを強化するため、担い手経営体への出向く体制を再構築し、多様なニーズに対応した総合的事業提案を行います。組織においても各事業の合理化・効率化に取り組むとともに、業務執行体制の強化や内部管理態勢の高度化に努め、将来にわたって持続可能な経営基盤の確立に努めます。

第20年度は、「第7次中期3ヵ年計画」と「第47回J A富山県大会」の決議実践の初年度であり、「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」としてさらなる自己改革に取り組み、地域の農業とくらしになくてはならない存在としての役割を発揮していきます。

1. 地域農業の振興と主穀作物・園芸作物の複合経営の定着化

- (1) 需要に応じた生産・販売と水田フル活用を基本とした地域農業振興計画の実践
- (2) 担い手経営体への総合的事業提案の充実化と担い手の育成・確保
- (3) 需要動向に即した「いみずの米」の販売・流通ネットワークの強化
- (4) 農産物直売所「菜っちゃん」を拠点とした准組合員との結び付き強化
- (5) 1億円産地づくり（枝豆・いちご）の生産拡大と販路の確保
- (6) 消費者の信頼を築く食の安全確保対策の徹底
- (7) 循環型農業を目指しもみ殻焼却肥料開発研究の継続

2. くらしに密着し貢献する事業活動の強化

- (1) J A女性部と連携した味噌・惣菜加工販売等、消費者と食のふれあい活動の充実
- (2) 健康を守る活動と高齢者助け合い活動を通じた「J A健康寿命100歳プロジェクト」の推進
- (3) J A女性部との連携による「J A地域暮らし戦略」の実践
- (4) 地域密着的な情報発信を重視した広報活動の取り組み

3. 自己改革を支える組織・事業・経営の再構築

- (1) 組合員加入促進及び正組合員の円滑な世代交代への取り組み
- (2) 収益力向上による安定的利益の確保
- (3) 地域密着活動の取り組み強化
 - ① 身近な支店を拠点とした地域とのつながりづくり
 - ② 年金相談・ローン相談の充実と提案型渉外活動の取り組み強化
- (4) 内部管理・コンプライアンス体制の高度化
 - ① 内部統制システム基本方針に基づく内部管理・監査態勢及び経営管理態勢の強化
 - ② 活力ある職場づくりの提案・検討による効果的な人材育成への取り組み



社会に学ぶ



14歳の挑戦



5月8日(木)～5月14日(木)の1週間、大門中学校2年生の生徒たちが仕事の体験を行う「14歳の挑戦」が行われました。

「14歳の挑戦」は、中学校2年生を対象としています。生徒たちは、1週間学校を離れて実際の社会で働くことによって、仕事の大変さや感謝されることの喜びを味わうとともに、挨拶や言葉遣いといったマナーを学んで、社会生活におけるルールの必要性を知ることを目的としています。

当農協でもカーポート大門2名、射水育苗セン

ター2名の生徒たちの受け入れに協力させていただきました。

カーポート大門では、車の窓拭きや洗車、給油、射水育苗センターでは、苗の水やりや運び出し作業、配達等たくさんの仕事を体験してもらいました。

生徒たちは初めての体験で緊張・戸惑い、色々な気持ちがあったかと思いますが、一生懸命働いてくれました。ここでの経験がこれからの生活に役立つことを願っています。

～射水育苗センター～



カーポート大門



春キャベツは
やわらかくて甘みが
あっておいしいよー

「菜っちゃん」新湊店では、今後6月上旬頃に「玉ねぎフェア」を予定しています。詳しくは、菜っちゃんの掲示板等で確認下さい。

活用することができます。

5月18日(土)、農産物直売所「菜っちゃん」新湊店において「春キャベツフェア」が開催されました。同フェアでは、生育期間のほとんどが寒い時期に育った甘みのある春キャベツが陳列棚いっぱい並び、多くのお客様で賑わいました。

この日は、試食として「塩キャベツの素」と「あつさり漬の素」を各々一口大に切ったキャベツと和えたものが振舞われ、お年寄りの方から子供たちまで大好評でした。

春キャベツは、生育期間のほとんどが冬季間であるため、通常の作型より甘みが増す特徴があります。このため、サラダや漬物、鍋等幅広く料理の食材として活用することができます。

「菜っちゃん」新湊店では、今後6月上旬頃に「玉

ねぎフェア」を予定し

ています。詳しくは、

菜っちゃんの掲示板等

で確認下さい。

春キャベツフェア開催



伊勢神宮献穀田お田植え祭

5月6日(月)、射水市三ヶの十社大神で、三重県伊勢神宮に奉納する献穀田御田植祭(けんこくでんおたうえさい)が行われました。

十社大神は三重県伊勢神宮の分社で、今回境内横の宮原剛史さんからお借りした斎田にて、(農)ファーム三ヶ北部や三ヶ地域振興会、三ヶ土木委員会の協力のもと、伊勢神宮よりいただいた「イセヒカリ」の種もみを育苗し、行われました。

当日の天気予報は下り坂でしたが、なんとか持ち堪えてくれました。紅白の装束を身に纏った太閤小学校の女子児童2名、小杉小学校の女子児童2名が早乙女となり、古式ゆかしく豊作を願いながら田植えを行いました。

宮城澄男宮司による祝詞奏上後、地元住民らの代表者が玉串をささげました。その後約130平方メートルの斎田に早乙女が入り、約10センチに育った苗を丁寧に植えました。

9月29日(日)の拔穂祭でイセヒカリを収穫し、その後伊勢神宮の神嘗祭(かんなめさい)に奉納されます。



バケツで稲作り

毎年恒例の「バケツで稲作り」が今年も射水市内の小学校で行われました。

本企画は、小学校5年生を対象としています。子供たちがバケツの中に稲の苗を植え、小さな田んぼを作り、苗からお米として食べられるまでの過程を身近に体験することができます。このことにより食べ物に対する関心、また命をいただくことの大切さを学び、農業への理解を深めることを目的としています。

5月15日(水)には、金山小学校の5年生が体験しました。子供たちは当農協営農指導員の指導のもと、バケツに水を入れ、床土を加えて適度な柔らかさ(プリン状になるくらい)になるまでかき混ぜた後、コシヒカリの苗を植え、肥料を入れました。

このバケツ稲は、小学校敷地内で水管理・観察され、秋に向けて豊作を目指します。

このほか5月10日(金)片口小学校、5月13日(月)新湊小学校、5月16日(木)大門小学校、堀岡小学校で行われました。



▶金山小学校



▶大門小学校



▶堀岡小学校

小学生の 田植え体験学習



射水市内の小学校では、毎年5月中旬頃に子供たちが学校田の田植えを行っています。

これは食農教育の一環として、毎日食べているお米がどのように作られているか直接関わることで、農業の大変さや食の大切さ等を感じてもらうことを目的としています。

5月15日（水）には、大門小学校5年生137名が学校近くの学校田で、（農）ファームふたくちの皆さんのご指導により、田植え体験を行いました。

ほとんどの子供たちが田植え体験は初めてということで、最初はぬるぬるした泥土での作業に戸惑う姿も見られましたが、しばらくすると慣れていき、泥の感触を確かめながら束になった苗をゆっくり慎重に植えていました。

田んぼの中にいるカエルを見つけた子供や将来は農業をしたいという子供、隣の友達と一緒に泥だらけになりながら田植えを楽しむ姿が印象的でした。

秋には、子供たちによる稲刈りが行われる予定です。

これから稲の成長が楽しみです。



大門小学校
5月15日(水)



苗の植え方を聞いています



みんな真剣です！！



小杉小学校

5月15日(水)



説明を真剣に聞いています



がんばりましたー！！



こうやって「ころかし」で
あとを付けていくんだよ



ていねいに
ていねいに...



片口小学校

5月23日(木)

射水市農業再生協議会

平成31年度(第14回)通常総会開催される

平成31年4月26日(金)いみず野農業協同組合本店3階ホールにおいて、射水市農業再生協議会平成31年度(第14回)通常総会が開催されました。

まず初めに、水元睦雄会長の挨拶で開会し、次の3議案について審議されました。

第1号議案 監事の承認について

第2号議案 平成30年度事業報告及び収支決算について

第3号議案 平成31年度事業計画(案)及び収支予算案(案)について

1号議案では、所属機関の人事異動により、一名の変更について説明がありました。

2号議案では、平成30年度「水田農業推進事業」「担い手育成・確保事業」「耕作放棄地対策事業」の活動内容等について詳細な説明がありました。

3号議案では、経営所得安定対策を円滑かつ効果的に推進するため、関係機関・団体と連携を図り、目標数量に即した作付けと本事業交付金の活用と課題解決に向けた取り組みを行うこととしました。

次に、一定の要件(主穀作農家)を満たす認定農業者(個人・法人)集落営農組織、人・農地プラン掲載者を担い手と位置づけし、現時点106経営体が表示されました。

また、集落営農組織の設立及び法人化を進めると共に、経営の複合化や多角化等の法人経営の効率化と充実強化を促進することとしました。

各案件について慎重な審議の結果、全議案が承認されました。

最後に、小川秀明副会長の閉会の挨拶で終了しました。



射水市再生協議会総会

太閤山小学校で

食農教育教材本の贈呈式



(左から) 水元組合長、池田温斗さん、芝田華菜さん、小竹隆雄太閤山支店長

4月23日(火)、射水市の小学校を代表し、太閤山小学校(櫻野栄子校長)へ当農協より食農教育教材本「農業とわたしたちのくらし」の贈呈式が行われました。

贈呈式では、5年生の代表児童2名が当農協水元睦雄代表理事組合長、小竹隆雄太閤山支店長より教材本を受け取り「ありがとうございます」と感謝の言葉を述べられました。

J Aバンクでは、平成20年から食農教育応援事業の一環として製作し、毎年教材本の寄贈活動を行っています。「農業」とわたしたちのくらし」は、私たちの生活に欠かせない「食」と「農業」、また「環境」と「農業」の密接な関わりや農産物が生産されてから店頭まで並ぶまでの流通、全国の産地等について紹介しています。また子供たちが興味をもちやすいようにイラスト・写真・グラフをふんだんに使った内容になっています。

当農協では、射水市の小学校5年生に教材本約900冊を贈呈しました。ぜひ今後の学習においてこの教材本を活用して、日本の農業や食文化に理解を深めていただきたいと思います。



「きりり夢体操」



楽しくストレッチ中♪

4月23日(火)、水戸田コミュニティセンターの和室にて、「きりり夢体操」と称した健康体操教室を行いました。岡島幸子先生のご指導のもと、「足スッキリ・フットケア体操」のテーマで開催し、約30名の参加をいただきました。

まずは全身のストレッチを音楽に合わせて行います。岡島先生い

わく、強めに無理やり身体を動かすのではなく、常に自分の身体と向き合い、そっと撫でて語りかけるようなマッサージが良いとのこと。まず朝起きたら、背伸びをし、身体を横に曲げ、目線ごと後ろにひねる。この3つの動きが基本となります。膝やふくらはぎなど、痛いところは毎日そっと撫でること。そして一日一回は膝の裏を伸ばすようにとのことでした。また、足の裏や指には内臓などに通じているたくさんのツボがあり、触って痛く感じる場所はその部分が弱っている証拠のため、優しく刺激して労わってあげることが大切なのだそう。

ここで、岡島先生に教わった毎日簡単に出来る足裏のマッサージをご紹介します。用意するのはサランラップの芯一本だけ。これに足の裏を乗せ、例えばテレビを見ながら、例えばソファで家の光を読みながら、軽くコロコロと転がすだけでもツボを刺激し血行促進の効果があるそうなので、皆さんもぜひ実践されてみてください。

岡島先生のユーモアあふれる教えに、常に笑い声が絶えない楽しい活動となりました。教室終了後、心も身体もほぐれてスッキリした皆さんの、明るい笑顔がとても印象的でした。

(水戸田支部)

「家庭菜園青空教室」

さわやかな風薫る5月21日(火)南郷支部の『家庭菜園青空教室』が行われました。

前日は、令和初の真夏日で畑や庭に雨がほしいなあと思っている夕方から朝にかけてたつぷりと降りました。しかし青空教室には雨は困ると思っていると8時過ぎには雨も上がりほつとした朝でした。10時の始まりには、浅井地区の畑に男性5名、女性21名の方に集まっていたきました。

鈴木支店長、竹内年金友の会長の挨拶後、野岸指導員の農薬の説明があり、早速じゃがいもの追肥や土寄せの状態を見ながら、なす、きゅうり、トマト、スイカなどの夏野菜の整枝の説明を聞きました。栄養状態をみての追肥の時期や肥料の種類等を話され、熱心な方々の質問も次々に出て、野岸さんも丁寧に答えていただき、大変参考になりました。又会員同士で自分のやり方等を話し合っ情報交換もされていました。浅井地区の畑には、立派な白菜やカブがみごとに育ち葉菜類も多く作ってありました。ご主人がいろいろ研究されて丹精込めて作っておられるそうです。

櫛田地区の畑では午後から集まっていたき、男性5名、女性16名の熱心な方々に竹腰指導員の

説明がありました。男性の参加は、だんだん増えてきているようです。そして、とても研究熱心でいろいろな作り方や追肥のやり方等をためておられる方もおられ凄いなと思いました。家に帰り早速トマトやきゅうり、なすの整枝を確認して、収穫を楽しみに手入れをしていこうと思いました。(南郷支部)



櫛田



浅井

今後の行事予定

6月15日(土)	チャレンジ農業
17日(日)	ほっとサロン(布目沢)
19日(水)	ほっとサロン(小杉白石)
21日(金)	フレッシュミズ
28日(金)	日帰りドック
30日(日)	料理教室
7月3日(水)	東海北陸リーダー研修会
5日(金)	ほっとサロン(海老江西町)
8日(月)	ほっとサロン(野手)
10日(水)	ほっとサロン(荒町)
11日(木)	ほっとサロン(下村白石)
16日(火)	健康教室
17日(水)	助け合い定例会
19日(金)	エコープ商品講習会
25日(木)	ほっとサロン(海老江東町)
26日(金)	手芸教室

新時代の幕開け、
日本のスマート農業。

第37回 農業機械総合大展示会

農機フェア2019

開催日 **7/6(土) 7(日)** 時間 **9:00~16:00**
場所 **富山産業展示館**
(テクノホール) 富山市製鉄16番地

高校生による華やかな
チアリーダーダンス
**7/6(土)
11:30~**
MARBLES

お笑いマジックショー
**7/6(土)
14:30~**
コンプレッサー

お笑いライブ
**7/7(日)
11:30~
21:430~**
クマムシ

小学生以下限定 スタンブラリー！
会場内のスタンブラリーを撮影して景品をゲット！
200名限定

女性限定
花のポットを
プレゼント！
毎日抽選
500名限定

農機に乗って
ハイチーズ！
お楽しみフォト
セッション

特設コーナー ●メーカー別展示 ●生産資材コスト低減 ●ミニ精製機実演 ●小物販売 ●雑談
●ドローン ●共済相談 ●貸金相談 ●リース相談 ●健康相談 他

小型農機から大型農機まで一堂に展示

JAグループ・JA全農とやま



「地域・農業活性化促進助成」のご案内

「農業の所得増大」や「水田フル活用」に向けた農作物の品質向上や増収、作業の省力化を図るため下記の農機具への購入助成を行います。

対 象 機 械	助 成 額
乗用管理機（培土機含む）	購入金額の10%相当
農作業タッチメント （溝堀機・播種機・畔塗機等）	購入金額の10%相当
農業用ドローン	購入金額の15%相当
色彩選別機	購入金額の15%相当
背負動力散布機	購入金額の15%相当

*1 当JAの組合員で、当JAにて購入の機械を対象とする。

*2 対象農機具は単価50万円（税抜）以上のものとする。（背負動力散布機の対象価格の設定なし）

*3 助成金額の上限は50万円/台とし、千円未満は切り捨てとする。

詳しい内容については、各農機センターまでお問い合わせください。



動力散布機